

5.五ヶ瀬川の川づくりの進め方

5.五ヶ瀬川の川づくりの進め方

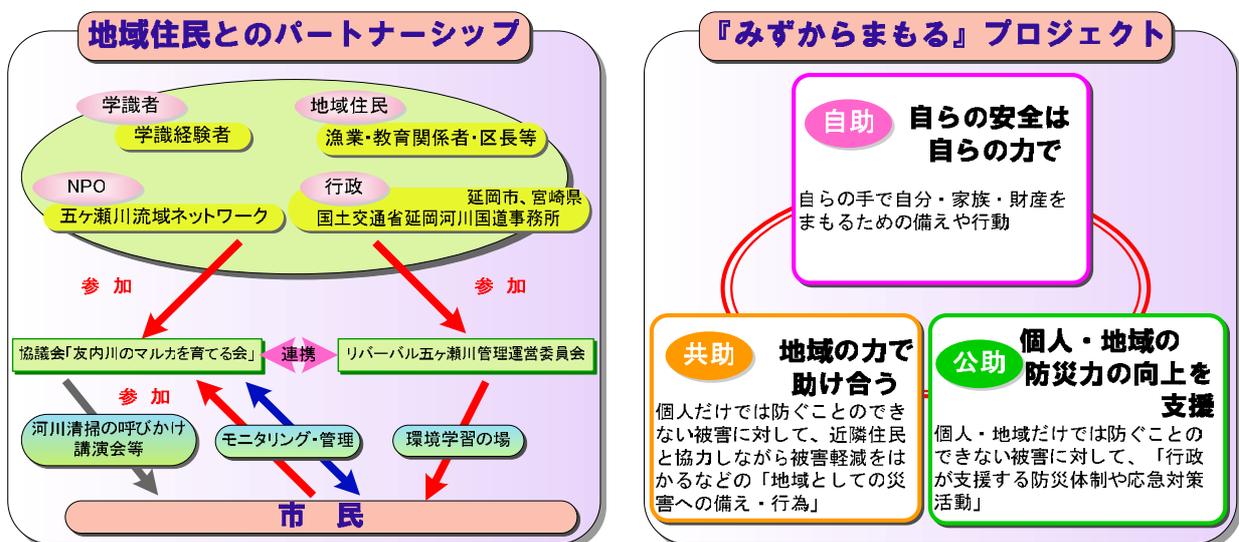
5.1 関係機関、地域住民との連携

五ヶ瀬川を常に安全で適切に利用・管理する気運を高め、より良い河川環境を地域ぐるみで積極的に形成することを目的に、河川管理者として収集した情報や河川利用に関する情報等を掲載したポスター、パンフレット、副読本等を作成するとともにインターネット等により幅広くPR活動を行い、情報の共有化を行います。

特に、五ヶ瀬川の河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、安全で多数の地域住民が参加できるよう、活動に必要な河川情報を積極的に提供する等の支援を行います。

これらにより、地域住民が五ヶ瀬川に関わる機会を設け、日常の維持管理(川の365日)においては、従来の河川管理者だけが行ってきた河川管理から、「五ヶ瀬川は地域みんなのもの」との認識に立った住民との協力・分担による河川管理への転換を推進していきます。

また、水害を受けないためには、「自助・共助・公助」が連携して機能することが必要不可欠であり、国・県・市からなる災害に強い地域づくりの推進を目的とする『「みずからまもる」プロジェクトチーム』を設立し、災害情報の提供体制の構築・強化、洪水ハザードマップの作成や個人・地域の防災力の向上を進めていきます。また、森林は山から海に至る健全な水循環を確保する上で大きな役割を果たしているため、森林の多面的な機能が保全されるよう「五ヶ瀬川ふるさと水回廊倶楽部」等を通じて森林保全に取り組む関係機関及び、市民団体等が行う活動に協力するなど連携に努めます。



5.2 地域住民の関心を高めるための広報活動

五ヶ瀬川の特性と地域風土・文化を踏まえ、延岡市の母なる川として「五ヶ瀬川らしさ」を生かした河川整備を進めるため、ホームページやラジオ、ケーブルテレビなどの地元メディアや広報誌を利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進していきます。

さらに、水生生物調査など自然体験活動等の機会を通じて身近な自然である五ヶ瀬川に親しみ、将来を担う子どもたちへの環境学習を積極的に支援するなど、広く地域住民に五ヶ瀬川に対する関心を高めるための活動を行います。